資料３　　令和３年８月５日

令和３年度第１回 三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会

オンライン資格確認等システムの状況について

令和3年6月25日
第143回社会保障審議会
医療保険部会資料

医療機関・薬局における対応状況

1　カードリーダー・パソコン等の状況

○　顔認証付きカードリーダーの申込数は**約13万機関（57.１%）**

（※ 全体約22.8万機関に対する割合、６月20日時点）

うち、**病院は約6,400**（全体約8,000病院の**77.6%**）、**薬局は約4.9万**（全体約６万薬局の**81.6%**）

※　病院の申込割合は**全都道府県で60%超、うち、22府県で80%以上、21都道県で70%以上**
医科診療所の申込割合は**全体で44.7%、14県で50%超**
歯科診療所の申込割合は**全体で49.4%、3県で70%以上、10県で60%以上**
薬局の申込割合は**全都道府県で70%超、うち、31都府県で80%以上**

※ 目標：医療機関等の６割程度での導入（令和３年３月時点）

○　カードリーダーは、５月末時点で**約7.1万台を配送済み**。

○　オンライン資格確認に必要なパソコンの調達は、世界的な半導体不足の影響を受けており、特にノート型パソコンの確保について、ベンダーに働きかけを行うなどの対応を実施中。

2　マイナンバーカードの健康保険証利用の登録状況（６月20日時点）

○　**440.3万件（10.4%）**

※　マイナンバーカード交付実施済数4,224万件に対する割合

＊医療機関・薬局に設置した顔認証付きカードリーダーでも申し込みが可能

医療機関・薬局における「プレ運用」の状況

令和3年6月25日
第143回社会保障審議会
医療保険部会資料

○ 現在実施している「プレ運用」には、**732施設（６月21日時点）**が参加。随時参加機関を拡大。

○ 受付の業務の負担軽減などのメリットが挙げられている一方、マイナンバーカードを持参する患者が少ないことなどが課題として挙げられている。

プレ運用の概況：732施設（47都道府県）が参加（６月21日時点）

【内訳】病院：85、医科診療所：225、歯科診療所：211、薬局：211

（導入のメリット）

○ 導入のメリットとして、初診の患者の資格の入力の手間が大幅に減った、即時に資格の有効性が確認できるようになり、医療事務にとって手放せない機能になったとの声を医療機関等から頂いている。

（プレ運用における課題）

○ システム的な課題として、システムのセットアップ時の課題（開始当初、設定に長時間要する、一部の設定で手間取る等）が多くを占めている。レセコンベンダーや通信事業者等と連携しながら適宜解消している。

※ プレ運用機関数が増加する中でも、アプリケーション等の改善や事業者側のノウハウが蓄積してきたことなどにより、システムに関する問合せ件数は減少傾向にある。

○ 運用上の課題として、「マイナンバーカードを持参する患者が少ない」「職員が操作を覚えなければならない」などが挙げられている。